



つべつ

第92号

社協だより

編集 社会福祉法人 津別町社会福祉協議会 令和2年7月1日発行
<http://www.protech-web.co.jp/homepage/tsubetsu/index.html>
<https://www.facebook.com/tsubetsushakyo/>




青大豆の種を
「社協めぐり」に
植えました!



住民の皆さんとの協働農園である「社協めぐり」。今年は、津別町手をつなぐ育成会と連携し、青大豆味噌の原料となる青大豆を栽培することになりました。

新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言も解除となり、青大豆の種植えに集まったのは、育成会の就労事業所の皆さんとボランティアの皆さん。豊作を祈り「はい、ポーズ！」

 この社協だよりは、共同募金の配分金を活用しています。

令和元年度事業と決算の報告

令和元年度も、町民の皆さまから会費・寄付金・ボランティア支援などたくさんの善意をいただき、事業を展開してまいりました。令和元年度の事業報告と収支決算が6月15日の評議員会において、次のとおり承認されました。

1 事業報告

身近な福祉相談所が町内4ヶ所となり、担い手による見守り等の活動が広がっています。また、住民による支え合い活動は、サロン事業、介護予防いきいきポイント事業、生活支援サポート事業の取り組みを通して培われており、今後も住民主体となった活動を拡げていくことが求められています。

2 重点項目

1 総合相談機能の充実

- (1) あんしん生活サポートセンターほっとの運営
- (2) 地域相互支援型自治体推進モデル構築事業の推進

2 地域の支え合い活動の推進

- (1) 自治会内における地域支え合い活動の取り組み
- (2) 介護予防いきいきポイント事業の推進

3 生活支援サービスの充実

- (1) 生活支援コーディネーターの活動と生活支援体制整備事業への取り組み
- (2) 生活支援サポート事業の推進
- (3) 福祉有償運送事業の取り組み
- (4) 認知症地域支援推進員の活動
- (5) 既存の福祉サービス事業等の充実

4 災害救援活動におけるボランティアセンターの運営

5 社会福祉協議会事務局活動の充実

- (1) 老人クラブ連合会事務局の取り組み
- (2) 庁舎等建設に伴う協議について
- (3) 広報活動の充実
- (4) 事務局体制の整備

【実施した主な事業・サービス】

◆あんしん生活サポートセンターの運営 ◆いきいきサロン活動の推進 ◆介護予防いきいきポイント事業 ◆地域相互支援型自治体推進モデル構築に係る研究事業 ◆生活支援体制整備事業 ◆認知症地域支援・ケア向上事業 ◆障がい者・生活困窮者等の働く場の創出事業 ◆福祉有償運送事業 ◆命のバトン配布事業 ◆給食サービス ◆介護器具の貸し出し ◆ふれあい郵便 ◆あんしんコール ◆一人暮らしの集い ◆長寿者夫婦の集い ◆ふれあい広場の開催 ◆男の料理教室 ◆心配ごと相談所の開設 ◆広報活動の推進 ◆ボランティア活動の推進 ◆安心電話の助成 ◆地域老人懇談会への助成事業 ◆サークルぴゅあの支援 ◆津別町老人クラブ連合会事務局の運営 ◆福祉資金貸付事業 ◆訪問介護 ◆訪問入浴介護 ◆障がい者の支援

◆令和元年度 地域福祉推進事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	44,776,351	会費・寄附金・補助金・繰越金等
支 出 合 計	43,408,202	人件費・事業費・事務費等
収入 - 支出	1,368,149	次年度へ繰越

◆令和元年度 介護事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	30,257,432	介護保険収入・受託金・繰越金等
支 出 合 計	22,539,761	人件費・事業費・事務費等
収入 - 支出	7,717,671	次年度へ繰越

◆令和元年度 福祉資金貸付事業会計決算

科 目	決 算 額 (円)	説 明
収 入 合 計	1,807,322	償還金収入・繰越金等
支 出 合 計	304,762	貸付金等
収入 - 支出	1,502,560	次年度へ繰越



理事会風景



社協めぐり（農園）



地域サロンの様子

新型コロナに負けない！
心はつながってる！！



新しい生活様式で
サロン活動再開！

今回の新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活を大きく変えています。

社会福祉協議会の活動も、これまでの「寄り添い」「手をとりあい」「集う」取り組みから、人との距離をとり、会話も制限するなど感染防止に向けた「新しい生活様式」が求められています。

5月25日に緊急事態宣言が解除されたのに伴い、自粛していた地域福祉活動も6月から感染拡大防止策を取り入れて、徐々にサロン活動などが再開しています。

人との距離は離れていても、支え合いの心はつながっています。

3密を避けて
活動を再開しよう

新型コロナウイルス感染症は、今まで当たり前と思っていた生活が制限されるという、初めて経験する感染症です。緊急事態が解除されたとはいえ、消毒やマスク着用などの感染予防対策は、これまで同様に行う必要があります。

「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3密を避けるなどの「新しい生活様式」を取り入れた感染予防対策を進めながら、社協がこれまで住民の皆さんと一緒に進めてきた地域福祉活動を再開していきたいと思えます。

寄り添ったり、手を取り合ったり、触れ合ったりは、今はできなくても、心はみんなつながっています。困難なときだからこそ、工夫をして活動を再開しましょう！

事業中止のお知らせ

1. 第29回つべつふれあい広場

不特定多数の来場者や高齢者の方の参加も多く安全と健康を考慮し中止としました。

2. ひとり暮らしの集い

でてこいランドを会場に実施してきましたが、会食と交流がメインで参加者の健康を考慮し中止としました。

北海道では、2月28日に緊急事態宣言が発せられて以降、社協ではサロン活動や老人クラブ活動などほとんどの地域福祉活動は自粛をお願いしてきました。
そんな自粛期間中でも実施してきた社協事業があります。

給食と移送は休まずサービス実施

それは、福祉有償運送事業と給食サービスです。



福祉有償運送事業は、登録された要介護高齢者や障がい者の方の通院等の移送を行う事業です。

給食サービスは40人程の利用者宅に火曜日・金曜日の夕食をボランティアが配達するサービスで、この期間中も感染予防しながらフル回転でした。

今後もこうした感染予防をしながらの生活が続きますが、健康に留意しながら地域福祉活動を進めていきましょう！

新しい生活様式による感染予防対策

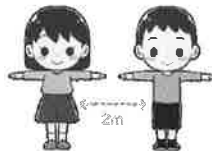
社会福祉協議会では町保健福祉課とも協議し、以下の感染予防対策を行ったうえで徐々に地域福祉活動を再開しています。皆様のご協力をお願いします。

- ① 利用開始前後に施設内の消毒を行う
会館備え付けの消毒液（次亜塩素酸水ソフト水）で、使用する机、いす、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、テレビ、リモコン、音響スイッチ、手すり など良く触れる部分を噴霧し、キッチンペーパー等で拭き取ります。



- ④ 入室前後に手指消毒をする
⑤ 参加者名簿（連絡先も）を作成する

- ② 参加する方の体調を確認する
発熱があったり（検温する非接触体温計は社協で貸出）だるさや息苦しさ、風邪の症状がある時は参加を止める。



- ⑥ 開始前、開始後1時間毎、閉会時に窓を開けて換気する（5分程度）

- ③ マスクを着用する
参加者はマスクを着用する。



- ⑦ 机や椅子の配置は、人と人との距離が2メートル離れるようにする

- ⑧ 手と手を触れあったり、近距離で大声を出さない、向かい合って話さない

コロナの自粛中も、美味しいお弁当と笑顔をお届けしてます！「給食サービス」



ボランティアは笑顔もお届けしてます！

給食サービスは、65歳以上の一人暮らしや夫婦世帯、障がいをお持ちの方で食事の支度が大変な方を対象に、安否確認も兼ね、週2回（火曜日と金曜日）の夕食のお弁当をお届けしているサービスです。

現在の利用登録者は44名で、利用者の方からは「美味しい。」「毎回楽しみにしている。」「と大好評です。」



おかずがたくさん入った地元で作っているお弁当

そして、2月末からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどの事業が中止される中、給食サービスは、20名のボランティアが交替で、感染予防に気をつけて、一日も休むことなく美味しいお弁当を利用者の方々に届けることができました。

これからも感染予防に気をつけながら、ボランティアの笑顔と一緒に美味しいお弁当をお届けしていきます。

* - *

ボランティア 輝く人

共和
熊谷 千代見さん



「給食サービスが最初の社協ボランティアかな」と振り返る熊谷さん。社協から依頼した文書を綴っているファイルを開くと平成20年10月が最初。およそ12年になる。今では、給食サービスのボランティアではベテランさん。「この活動は楽しいよ！」と、自慢の笑顔がこぼれる。

昨年11月から共和第2自治会に生まれた「にこにこサロン」。ここでも熊谷さんの出番がある。新型コロナウイルス感染防止のため中断していたが、6月から再開。自治会福祉部のサロン担当として中心的メンバーで活躍中。17年間務めあげた民生委員は退任したものの、熊谷さんのボランティア活動はまだまだ続きそうだ。



メモ

「輝く人」では、社協のボランティアに登録されている方を紹介しています。第21回は、長年給食サービスなどで活躍している熊谷千代見（くまがい ちよみ）さんに登場していただきました。

【 津別町共同募金委員会からのお知らせ 】

第6弾 **赤い羽根ピンバッジ** を作成いたしました。

今回は、津別で生産が盛んな**玉ねぎ**と**まる太くん**のコラボです。

津別町玉葱振興会青年部 がデザインしました。

500円募金していただいた方に
1個贈呈いたします。

町民の皆さまの募金協力をお願いいたします。

※皆さまに協力いただいた募金は、
町内の福祉事業・福祉サービスに活用します。



令和元年度の募金実績額



赤い羽根募金

実績額 **1,451,001円**

- 戸別募金 895,860円
- 法人募金 301,000円
- その他 254,141円

歳末たすけあい募金

実績額 **636,650円**

- 戸別募金 588,240円
- その他 48,410円

募金活動報告

- つべつ夏まつりでの募金活動
- 赤い羽根パークゴルフ大会
- 各商店等への募金活動
- つべつふれあい広場での募金活動
- 赤い羽根ゲートボール大会



たくさんのあたたかい気持ち
ご協力ありがとうございました。



車椅子の寄贈

株式会社ツルハホールディングス様より車椅子5台を寄贈していただきました。町民の皆さまに貸出用として使用しますので、希望される方は社協にご連絡ください。



行事予定

■津別町共同募金委員会

- 第6回赤い羽根パークゴルフ大会
令和2年10月3日(土)
- 第5回赤い羽根ゲートボール大会
令和2年10月23日(金)

■津別町老人クラブ連合会

- 第24回老連会長杯パークゴルフ大会
令和2年9月3日(木)
- 第31回老連会長杯ゲートボール大会
令和2年9月16日(水)
- 津別町老人クラブ連合会演芸交流会
令和2年11月12日(木)

上記事業については、新型コロナウイルスの状況により中止になることもあります。

編集後記

6月より少しずつサロン等社協事業を再開していますが、新型コロナウイルス感染への心配が無くなったわけではないので、始まる前と終わりに消毒を行うなど、細心の注意を払って事業を進めています。

なお、「ふれあい広場」や「一人暮らしの集い」など大勢の方が参加する事業は、中止することとしましたが、新型コロナウイルスに負けないためにも、代わりになる事業を町民の皆さんに提供できればと思っています。

(K)

心あたたまるご寄付 ありがとうございました。

(令和2年3月17日から令和2年6月17日)

(敬称略)

社会福祉協議会へ

◆香典返しを廃して

| | | | | | |
|---|---|---|---|------|------|
| 活 | 汲 | 柳 | 瀬 | エミ子 | 10万円 |
| 豊 | 永 | 松 | 田 | 和子 | 5万円 |
| 活 | 汲 | 澤 | 田 | 君子 | 3万円 |
| 旭 | 町 | 坂 | 田 | 英子 | 3万円 |
| 布 | 川 | 柏 | 葉 | 宏樹 | 5万円 |
| 緑 | 町 | 加 | 賀 | 谷のり子 | 3万円 |
| 共 | 和 | 北 | 川 | スミ子 | 3万円 |
| 活 | 汲 | 近 | 藤 | 弘和 | 2万円 |
| 豊 | 永 | 星 | | 岩男 | 3万円 |
| 旭 | 町 | 山 | 本 | 峯雄 | 3万円 |
| 達 | 美 | 内 | 田 | 三雄 | 2万円 |
| 豊 | 永 | 徳 | 田 | 博一 | 5万円 |
| 共 | 和 | 仲 | 野 | 武義 | 3万円 |
| 豊 | 永 | 細 | 川 | 博行 | 3万円 |
| 活 | 汲 | 前 | 田 | 裕治 | 2万円 |
| 旭 | 町 | 大 | 西 | 陽子 | 2万円 |

指定寄付

| | | | | |
|--------------|----|----|-----|------|
| ◆共和第4自治会へ | 共和 | 北川 | スミ子 | 3万円 |
| ◆幸町自治会へ | 豊永 | 徳田 | 博一 | 3万円 |
| ◆旭町第2自治会へ | 旭町 | 坂田 | 英子 | 2万円 |
| ◆活汲中央自治会へ | 活汲 | 澤田 | 君子 | 3万円 |
| ◆活汲老人クラブへ | 活汲 | 柳瀬 | エミ子 | 3万円 |
| | 活汲 | 澤田 | 君子 | 10万円 |
| | 活汲 | 前田 | 裕治 | 1万円 |
| ◆友楽園すこやかクラブへ | 旭町 | 坂田 | 英子 | 2万円 |
| ◆いちいの園へ | 豊永 | 星 | 岩男 | 2万円 |

※次回(10月発行)の「社協だより」から、寄付者の住所・氏名のみ記載し、寄付金額は掲載しないことといたしますので、ご了承願います。

ただし団体からの寄付については、寄付金額も掲載いたします。